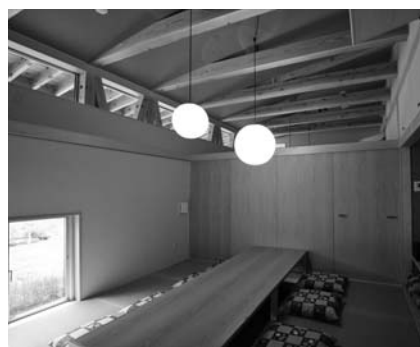


村民保養施設 「さざり荘」完成

間伐材などを利用した薪ボイラーを導入



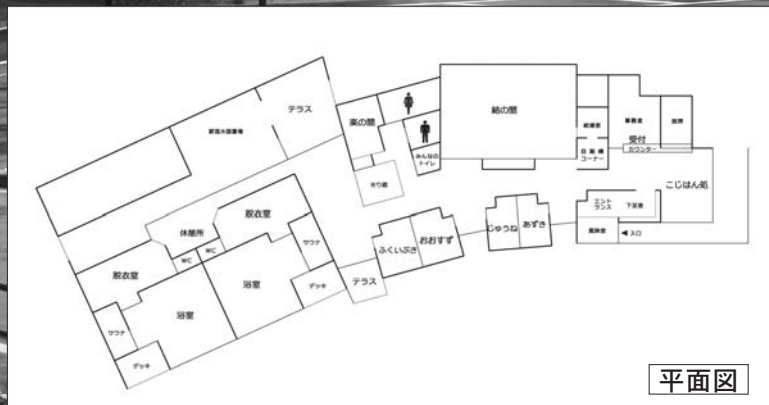
大広間



個室(6畳2室、8畳2室)



軽食ラウンジ「こじはん処」



平面図

昨年九月に着工した村民保養施設「さざり荘」が完成し四月二十九日、竣工・開所式が行われました。

さざり荘は、昭和四十七年のオープン以来、村民の憩いの場として親しまれてきましたが、老朽化し建物の安全性の確保が難しいことから、議会や村民から新たな施設の建設が望まれていました。

完成した建物は、木造平屋建て機械室は鉄筋コンクリート造りで、延べ床面積は約七百八十平方メートル。総事業費は三億七千二百五十八万一千円。建材の一部には館山公園から切り出したスギを使い里山景

観と融合した外観と、おしゃれで粋(いき)な雰囲気を持つ館内で、百年先を見据えた安全性と維持管理に考慮した建物になっています。

■間伐材などを燃料に利用
給湯ボイラーの燃料には、村バイオマスヴィレッジ構想に基づいた森林資源の有効活用の一環として、間伐材や残材などを活用できる薪ボイラーを導入。温泉の加温や床暖房の熱源に利用し、化石燃料の消費を最小限に抑制するなど地球環境に配慮しています。

また村では、林業の振興と化石燃料に頼らない循環型社

会の形成を目指し、村内産の木材を最大限活用する仕組みを検討しています。薪の調達には、村内産木材を村民から買い上げること、資源と経済の循環を行う施設になると期待しています。

■サウナや個室を完備
施設は男女別浴場とサウナのほかに大広間、個室(六畳二室、八畳二室)、カラオケルーム、軽食ラウンジを完備しています。

■施設の完成を祝う
竣工・開所式は四月二十九日、完成した「さざり荘」で行われました。

関係者約四十人が出席。式に先立ち、大楽村長、前田村議会議長、阿久津村区長、工事関係者がテープカットを行いました。引き続き施設内で式典が行われ、大楽村長が「次の世代に誇れる施設が完成しました。皆さんのご協力に感謝いたします」とあいさつ。続いて工事関係者に感謝状が贈られました。

午前十一時から開所し、大勢の入湯客にぎわいました。



薪ボイラー



サウナルーム



浴室